

Title	腭疾患に対する外科治療
Author(s)	松井, 淳一
Journal	歯科学報, 112(4): 533-533
URL	http://hdl.handle.net/10130/2906
Right	

特別講演 4

膵疾患に対する外科治療

東京歯科大学外科学講座教授 松井 淳一

膵疾患に対する外科手術は、膵頭部疾患に対しては膵頭十二指腸切除術、膵体尾部疾患に対しては膵体尾部(+脾)切除術が標準的に行われて来た。私は、従来胃切除を伴っていた膵頭十二指腸切除術において全胃を温存する幽門輪温存膵頭十二指腸切除術を約85%の症例に行い、消化管再建は盲端の無い生理的な方法である今永法、ならびに膵空腸吻合では膵管空腸粘膜吻合法を一貫して行っている。また、手術成績不良の膵癌などでは局所根治性を高めるために同時に門脈や動脈などの血管合併切除や拡大リンパ節・神経叢郭清も症例に応じて積極的に行っている。一方、最近診断される症例が増加している膵嚢胞性疾患(膵管内乳頭粘液性腫瘍など)を代表とする低悪性度～良性膵疾患に対しては十二指腸温存膵頭切除術、膵中央切除術、脾温存膵体尾部切除術などの種々の縮小手術も取り入れている。こう言った外科手術の結果、長期生存例が多く得られる時代になっており、術後残膵の機能温存と長期維持、あるいは残膵二次性病変の発生、診断にも配慮して治療を行っている。

今回の講演では、膵癌だけでなく各種膵疾患に対する外科的診断や術式選択、切除・再建の工夫、ならびに膵頭十二指腸切除術後を中心にして術後残膵の内視鏡検査の実際をビデオ供覧しながら紹介したい。

《プロフィール》



<略歴>

昭和48年3月 岐阜県立岐阜高等学校卒業
 昭和54年3月 慶應義塾大学医学部卒業
 昭和54年5月 慶應義塾大学医学部外科学教室研修医
 昭和57年5月 慶應義塾大学医学部外科学教室助手
 昭和60年5月 大田原赤十字病院外科第2外科副部長
 昭和61年8月 栃木県立がんセンター外科医員
 昭和64年1月 カナダトロント大学医学部消化器科に研究留学(～平成3年2月)
 平成3年4月 栃木県立がんセンター外科手術室医長
 平成8年6月 栃木県立がんセンター外科第4病棟医長兼務
 平成11年6月 大田原赤十字病院第1外科部長(内視鏡センター部長兼務)
 平成18年5月 さいたま市立病院副院長兼外科部長
 平成18年9月 慶應義塾大学医学部客員助教授(外科学)
 平成21年11月 東京歯科大学市川総合病院外科学講座教授
 平成23年4月 慶應義塾大学医学部客員教授(外科学)
 平成24年4月 東京歯科大学市川総合病院外科学講座主任教授
 現在に至る

<学会活動>

日本外科学会(専門医, 指導医)
 日本消化器外科学会(専門医, 指導医)
 日本消化器病学会(専門医, 指導医)
 日本内視鏡外科学会会員(評議員)
 日本肝胆膵外科学会会員(評議員, 高度技能指導医)
 日本膵臓学会
 日本胆道学会(指導医)
 International Hepato-Pancreato-Biliary Association
 International Society of Surgery
 日本臨床外科学会(評議員)
 日本胃癌学会
 日本消化器内視鏡学会(専門医, 指導医)
 日本Metallic stent & Graft研究会
 日本外科代謝栄養学会
 日本静脈経腸栄養学会
 日本癌治療学会(日本がん治療認定医機構暫定教育医, がん治療認定医)
 International Association of Surgeons, Gastroenterologists and Oncologists
 日本コンピュータ外科学会
 日本腹部救急医学会(評議員)
 日本緩和医療学会

<賞罰>

平成6年4月 第25回日本膵臓学会大会会長賞受賞
 平成8年度 刀林賞受賞(慶應義塾大学外科学教室)